

ファッション  
One Point  
アドバイス

実はすごい！  
チョコレートパワー☆



今年は、バレンタインデーのプレゼント前に味見用に購入できるような1, 2粒程度の手頃なものも多く出ているようです。また、バレンタイン限定商品を出す高級チョコレートブランドも多いため、自分で味わうために購入する人も増えているとか。

チョコレートの主原料であるカカオ豆は、カカオの木の果実の中にある種子のことで、カカオの木は学名を「テオプロマ・カカオ」と言います。テオプロマとはギリシャ語で“神様の食べ物”という意味です。このことからわかるように、昔は王様や貴族だけが食べられる貴重な食べ物でした。カカオはお金として使われたり、儀式に使用されたり、不老長寿の薬としても重用されていました。

癌や動脈硬化などさまざまな病気の原因といわれている活性酸素。この活性酸素の働きを抑えると注目されているのがポリフェノールです。赤ワインに含まれていることは有名ですが、実はチョコレートには赤ワインよりも多量にポリフェノールが含まれているのです。また、カカオ成分には虫菌を抑える効果もあるそうです。さらに、食物繊維も豊富に含まれておりお腹にもやさしく、カルシウム・マグネシウム・鉄・亜鉛などのミネラル類を豊富に含むバランス栄養食品です。そのうえ、チョコレートの香りには、集中力や注意力、記憶力を上げることが確認されています。そのほかにも、精神安定効果や覚醒効果、疲労回復効果などなど。また、抗酸化作用で美肌にも効果が・・・！

## 絵画の中の洗濯風景 洗濯



エドゥアール・マネ作 (1875年)

エドゥアール・マネ (1832~1883) は、近代洋画の革新を果たした印象派の誕生を導いた画家とされ、20世紀の巨匠であるセザンヌやピカソなどにも大きな影響を与えたとされています。それまでの伝統的な絵画は、暗く重厚なイメージのものでしたが、マネはこのようなものにとらわれず、鮮やかな明るい色彩で描きました。

この「洗濯 (Le Linge)」は、美しい花々が咲く庭で洗濯物を干す母と子の情景を描いたものです。洗濯という生活作業をモチーフとして、穏やかな日常の豊かさと家族愛を感じさせます。

HD NEWS 2020年1月31日(隔月)発行 第16巻第1号通巻89号

暮らし応援ニューズレター

# HomeDry News

ホームドライニュース No. 89



ファッション・ワンポイント: 実はすごい! チョコレートパワー☆  
絵画の中の洗濯風景: 洗濯  
衣類のケア講座: 革製品が濡れたらアイロンは厳禁  
衣生活の知恵: ポリ袋はお渡し用、取り外して保管してください

まごころクリーニング  
ホームドライ ホームドライ  
<http://homedry.or.tv/>



## 衣類のケア講座

### 革製品が濡れたら アイロンは厳禁

#### ●皮革の主成分はコラーゲン

皮革の主成分はコラーゲンというたんぱく質です。水分を含んだ状態で高熱をかけると変質してしまいます。これは、肉料理を煮込むと、縮んで固くもろくなってしまふのと同じです。ですから、レザージャケットが雨や雪で濡れてしまったときに、急いで乾かそうとしてアイロンがけしたり、高温の乾燥機に入れたりしないでください。

#### ●濡れてしまった革バッグは形を整えて乾燥



革のバッグが雨や雪に濡れてしまったら、そのままつぶれてしまった状態で放置しておくと、乾燥したときに変形した状態になってしまうことがあります。そんな時は、バッグの中に新聞紙などをくしゃくしゃにして詰め物を入れ、形を整えて乾燥させるようにしましょう。

#### ●スエードとバックスキンの違い



スエードは、牛とかヤギの裏地を毛羽立てて、ベルベットのような柔らかい手触りに仕上げたもので、スエーデンでこのベルベット仕上げを始めたのでこう呼ばれます。

バックスキンは、本来は雄ジカ（バック：buck）の皮のことをいいますが、現在では羊や子牛の皮の表面を削って毛羽立ててスエードのように仕上げたものです。

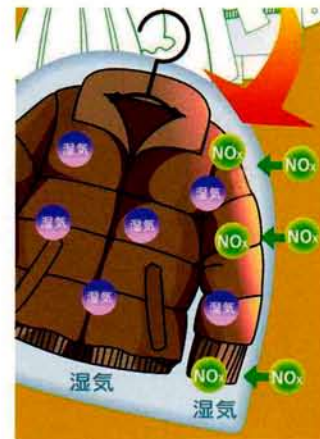
スエードが皮の裏を使うのでバック（back）スキンと混同されがちですが、バックスキンは表面を削ってけばだせたものですから違います。

毛羽立たせたスエードやバックスキン製品は、毛羽が寝てシミのようになっていたり、汚れやすいのですが、やや硬めの靴ブラシで、一定方向にブラッシングすると毛並みが起き上がり、ゴミなども取ることができます。（資料：東京都立皮革技術センター）



### ポリ袋はお渡し用 取り外して保管してください

ダウンジャケットや中綿衣料品を、保管後に取り出してみると、袖や裾の部分の色が退色していることがあります。また、ボンディング製品や樹脂コーティング品が、ドライクリーニングによってベタついたり剥がれたりすることがあります。これら



の最も大きな原因は、ポリ袋を掛けたままでの通気性のない状態での保管です。

ガスレンジや暖房器などによる燃焼では、必ず酸化窒素ガスというものが発生します。お渡し用に掛けられたポリ袋は、中綿に含まれる湿気をこもらせ、酸化窒素ガスは透過してしまい袖や裾の部分を変色させてしまいます。仕上がり後は早急にお引き取りいただき、必ずポリ袋を取り外して通気性の良い状態で保管してください。

ポリ袋に入れたまま保管していると、湿気が発散されないので、コートやブルゾンに使用されているポリウレタン樹脂の加水分解が進行します。分解した樹脂は、ドライクリーニング溶剤を吸収して溶解し、ベタついたり剥がれたりすることになります。